

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
①教職員が学校経営に主体的に参画し、学校教育目標や小中一貫教育共通目標の具現化を推進する。 ②学力の3要素を育み、学びの広がりや人間力の土台となる学力向上をより充実させる。 ③地域の中の学校として、学校運営協議会や学校評価手法を活用し、信頼され開かれた学校づくりを進める。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	道徳、各教科等のねらいを明確化し、人との関わりを大切にする様々な教育活動を通して、人権尊重の意識を高め、感謝の心を育てる。	“①道徳の授業を中心に宿泊学習、校外学習、ボランティア活動、職業体験、福祉体験学習や人権講演会などを通して思いやりの心、規範意識、勤労観、職業観を育て人との関わりを大切にする人権感覚を養う。 ②校内諸活動に主体的に取り組み、達成感や自己有用感を味わうように働きかける。
担当 特活指導部・人権教育担当 総合キャリア推進委		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・自分にはよいところがあるという自尊感情をもっているが、ものごとを最後までやりとげたという達成感や、自分の力を存分に発揮できているという充実感が希薄であり、将来への希望を抱けずにいる点が課題である。
- ・他者と関わり、積極的にコミュニケーションをとりたいという思いを抱いているが、他者を尊重した言動がとれているかという点に自信がもてずにいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

【 視点 1 】 要となる「道徳の時間」の指導の充実

- ・全学級において道徳の時間の指導力向上を図る。
- ・「新しい道徳」を積極的に活用し、道徳的価値について考えるきっかけとする。

指針2 体験学習の充実

【 視点 4 】 発達の段階と照らし合わせた課題の位置づけとキャリア教育の充実

- ・校外学習や職場体験学習、ボランティア活動など価値ある体験学習を通し、思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観や職業観について考えていけるようにする。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

【 視点 6 】 人権教育の充実

- ・人権が尊重される授業作りが実践できるよう、人権講演会や人権研修会を実施し、教師の人権感覚、人権意識を向上させる。